

消防団活動における熱中症対策について

気温が高い時期の訓練、火災対応等においては、各自、下記の3点を念頭に、各自熱中症対策を実施すること。

- ① 各自飲み物を持参し、適時水分補給をすること
- ② 小隊長、分団長の管理のもと、交代で休憩を取りながら作業をすること
- ③ 体調不良等異常を感じた場合は速やかに作業を中止し、他の団員、分団長、小隊長等（現場統括者）に報告。 涼しい場所に移動し、身体冷却、水分補給を行うこと

※身体冷却の例：衣服を緩めて風を送る、全身に水を被る、アイスバッグ等で首、腋の下、足の付け根等を冷却する等など。

なお、熱中症の恐れがある者を発見した団員は、下記のフロー図により対応すること

